

てんかん発作対処学ぶ

徳大病院
フォーラム 600人、がん最新治療も

てんかんやがんをテーマにした市民公開講座「徳島大学病院フォーラム2017春」(同病院主催、徳島新聞社共催)が11日、徳島市蔵本町の徳島大塚講堂であり、約600人が患者への適切な対処法や最新の治療法を学んだ。

同病院の医師9人が講演。精神科神経科総務医長の中瀬理仁医師は、てんかん発作には全身がけいれんしたり意識を失ったりと、患者によってさまざまな症状が見られると説明し、薬物療法を紹介した。発作が起きた患者への対処法として▽頭をぶつけないように保護する▽横向きに寝かせる▽ネクタイやベル

トを緩めて呼吸しやすくするーなどを挙げた。大腸がんや子宮がんなどの最新の治療法に関する講演もあった。(三浦麻衣)



てんかんの治療法などについて講演する中瀬医師。徳島市の徳島大塚講堂

てんかんやがんをテーマにした市民公開講座「徳島大学病院フォーラム2017春」(同病院主催、徳島新聞社共催)が11日、徳島市蔵本町の徳島大塚講堂であり、約600人が患者への適切な対処法や最新の治療法を学んだ。